

# 令和7年度 市政アンケート調査 第6回結果報告(概要版)

## 1. 市政アンケート調査の概要

- (1)目的 ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。  
②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2)調査対象者 福岡市内に居住する満18歳以上の市民636人(就任時)  
①選考方法：住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼  
②任期：令和7年4月4日から令和8年3月31日まで
- (3)調査方法 【案内：郵送・メール、回答：郵送・インターネット】
- (4)調査主体 福岡市 市長室 広聴課

## 2. 第6回調査の概要

- (1)調査時期 令和7年10月27日から11月10日まで
- (2)調査対象者数 628人
- (3)回答者数 512人
- (4)有効回答率 81.5%
- (5)調査テーマ ①「ユニバーサル都市・福岡」について  
②「救急車の適時・適切な利用」について  
③「福岡市の広報活動」について  
④「食育」について  
⑤「福岡市の行政運営の取り組み」について

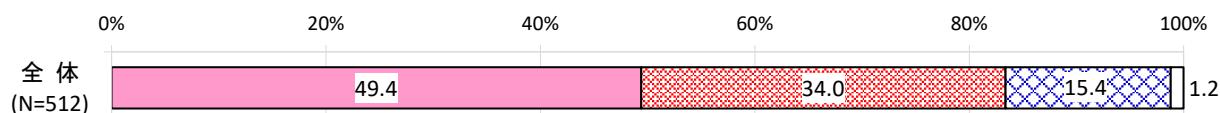
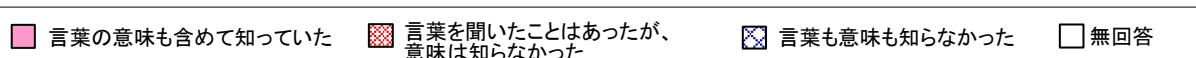
## 3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

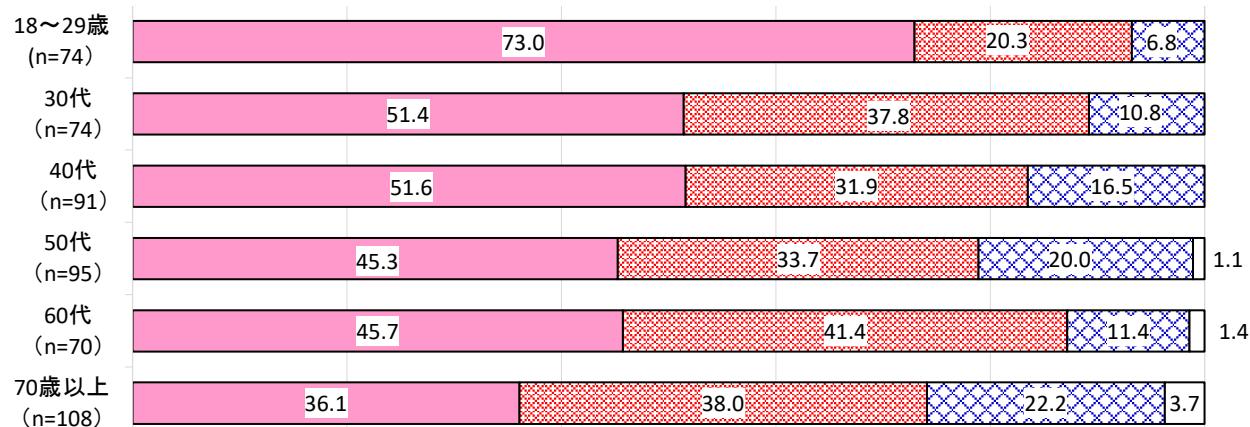
# ①「ユニバーサル都市・福岡」について(N=512)

※『』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの  
例:「満足」=「満足している」+「どちらかといえば満足している」

## 《ユニバーサルデザインについてどの程度知っていたか》

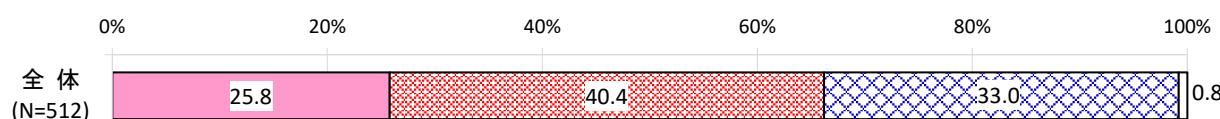
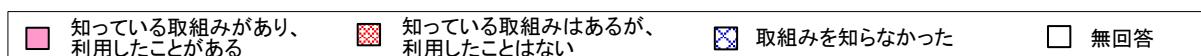


### ◆年代別

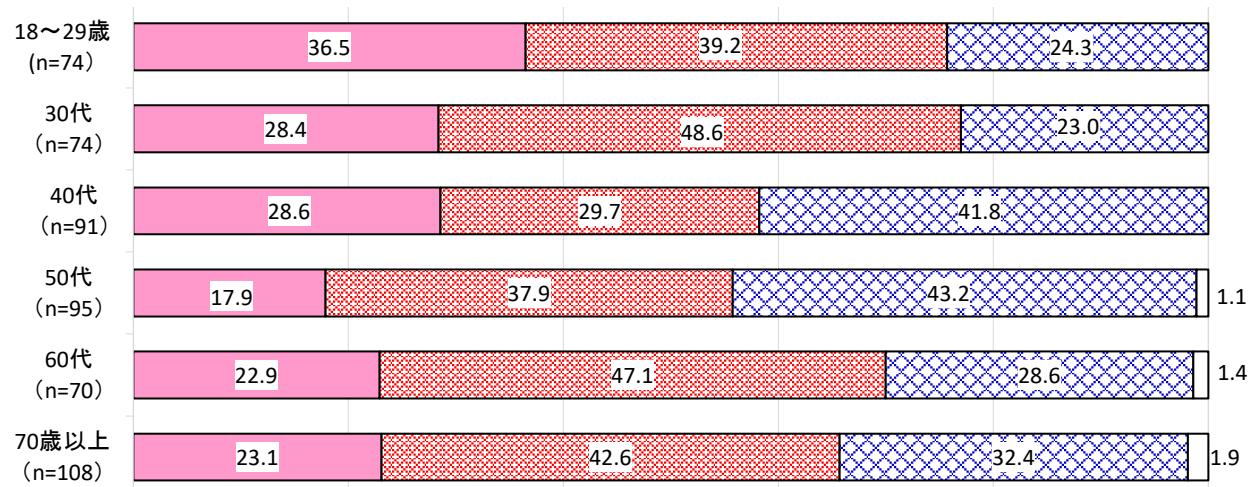


「言葉の意味も含めて知っていた」と回答した方は全体の49.4%でした。年代別にみると18~29歳で最も高く、73.0%となりました。

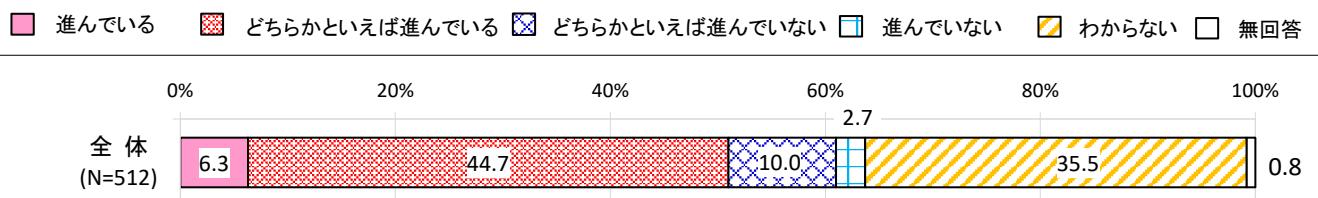
## 《ユニバーサルデザインに基づく取り組みを知っているか、利用したことがあるか》



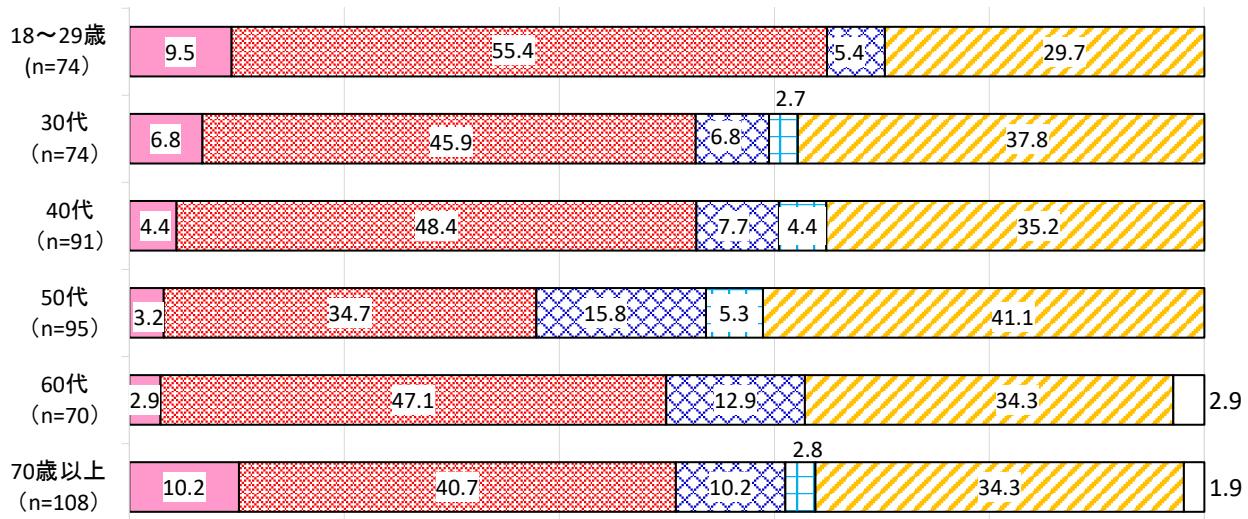
### ◆年代別



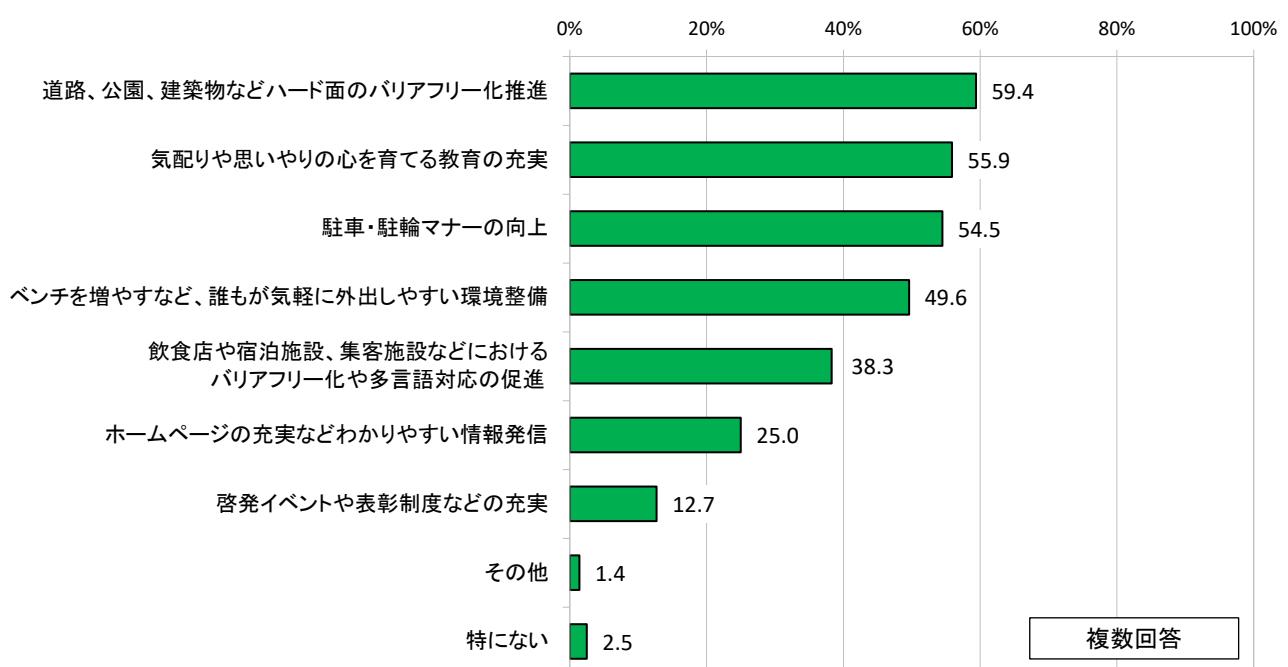
## 《福岡市はユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思うか》



### ◆年代別



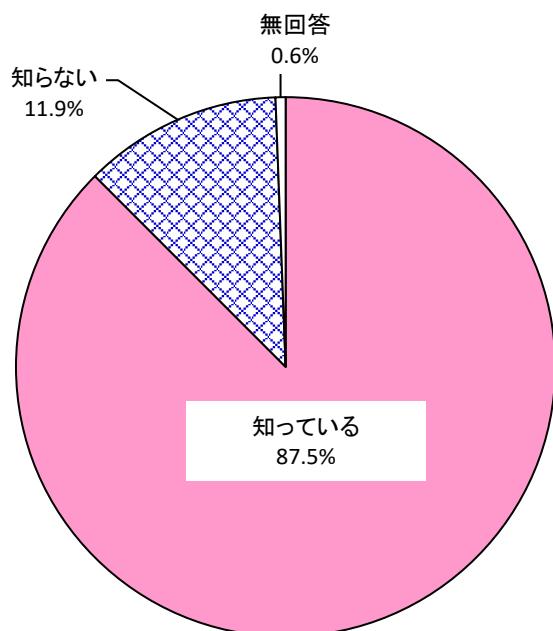
## 《「ユニバーサル都市・福岡」を実現するため、より充実させる必要があると思う取り組み》



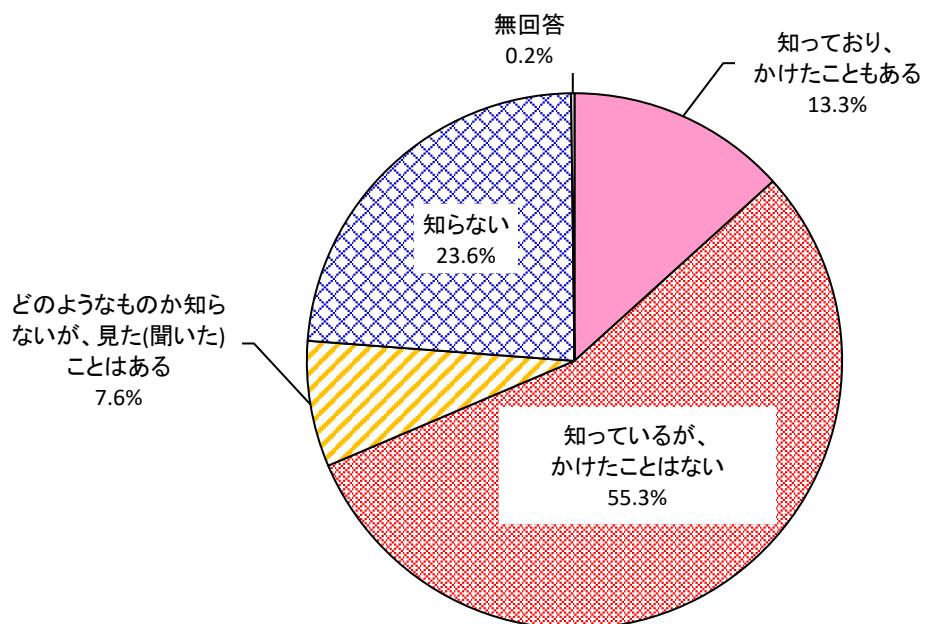
「道路、公園、建築物などハード面のバリアフリー化推進」と回答した方は全体の59.4%と最も多く、次いで「気配りや思いやりの心を育てる教育の充実」が55.9%、「駐車・駐輪マナーの向上」が54.5%となりました。

## ②「救急車の適正利用」について(N=512)

『不適切な要請により救急車の出動が増加していることを知っているか』



『#7119(救急電話相談・医療機関案内)を知っているか、かけたことはあるか』



『知っている』と回答した方は全体の68.6%でした。また、「見た(聞いた)ことはある」と回答した方も含めると全体の76.2%となりました。

※ #7119(救急電話相談・医療機関案内)

急な病気やケガのときに電話すると、看護師から救急車の利用や、最寄りの医療機関についてアドバイスが受けられます。

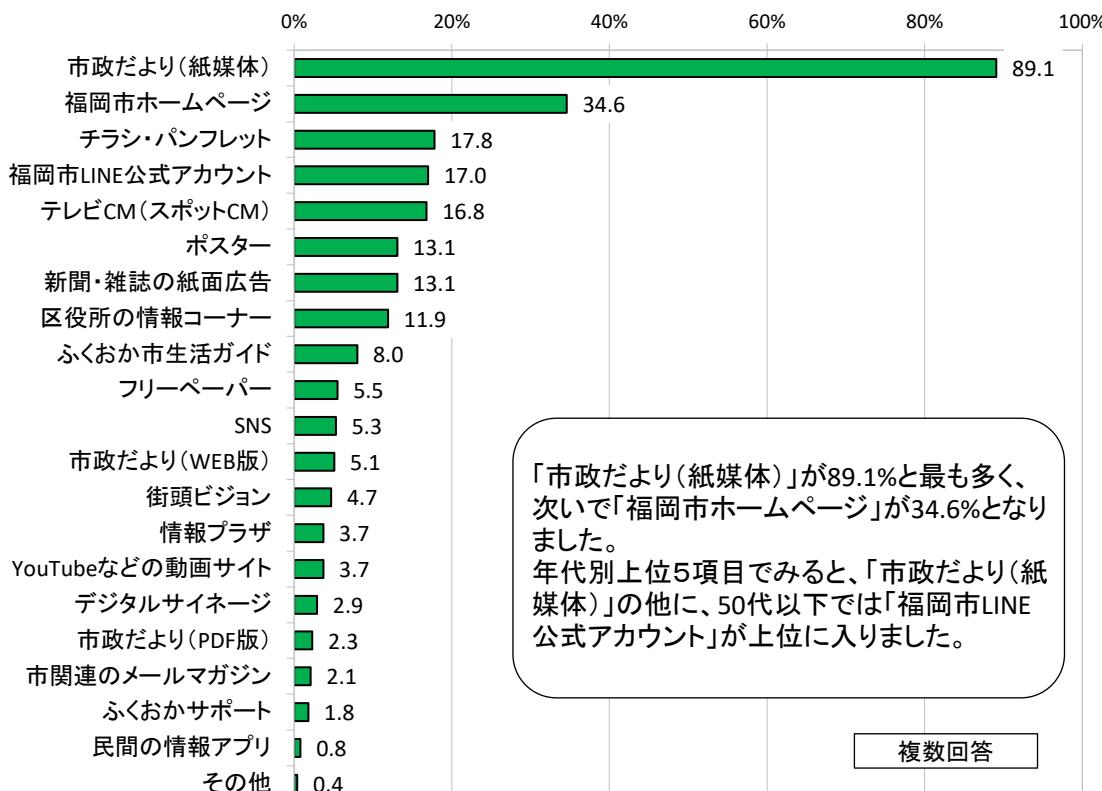
救急車？ 病院？ 迷ったら



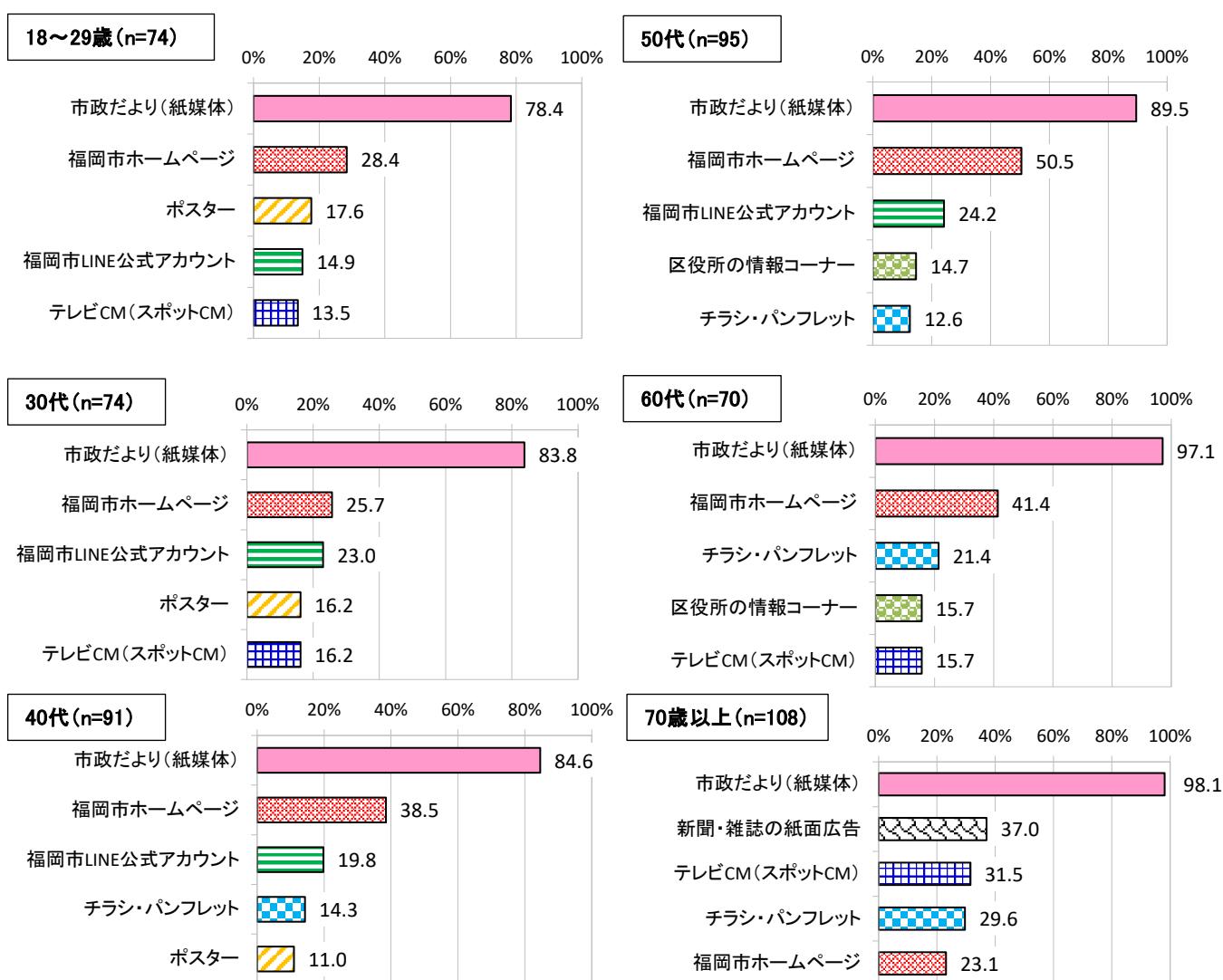
福岡県救急電話相談・医療機関案内

### ③「福岡市の広報活動」について(N=512)

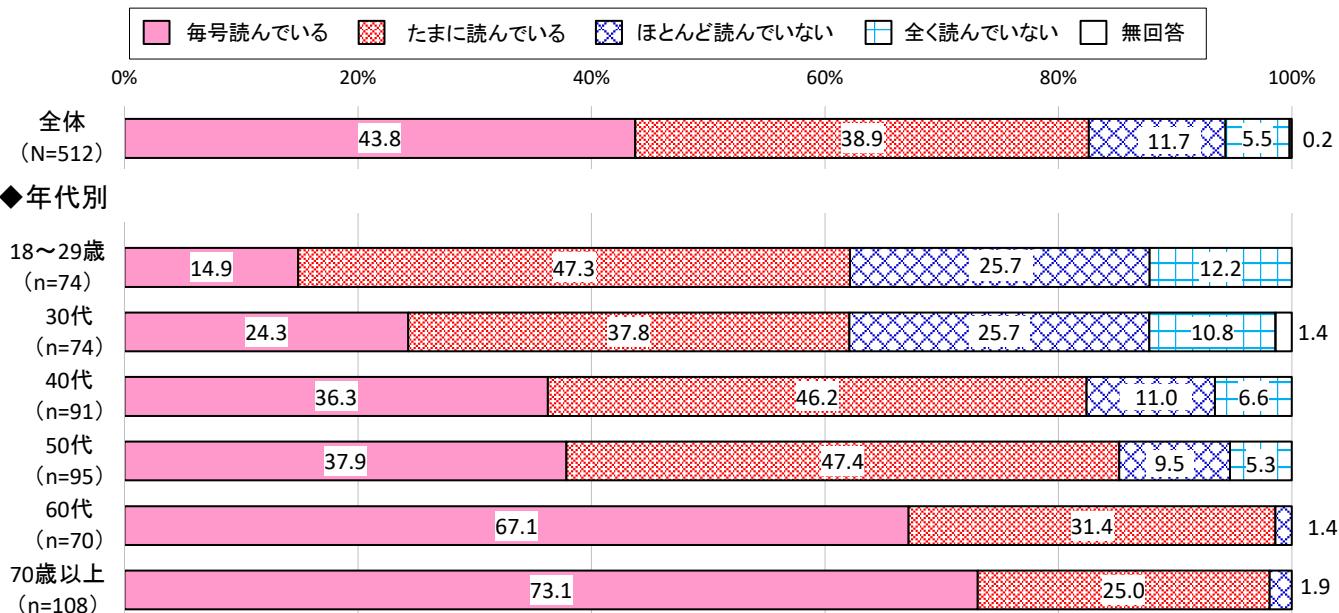
#### «市政情報を得るために利用したことがある広報媒体»



#### ◆年代別上位5項目

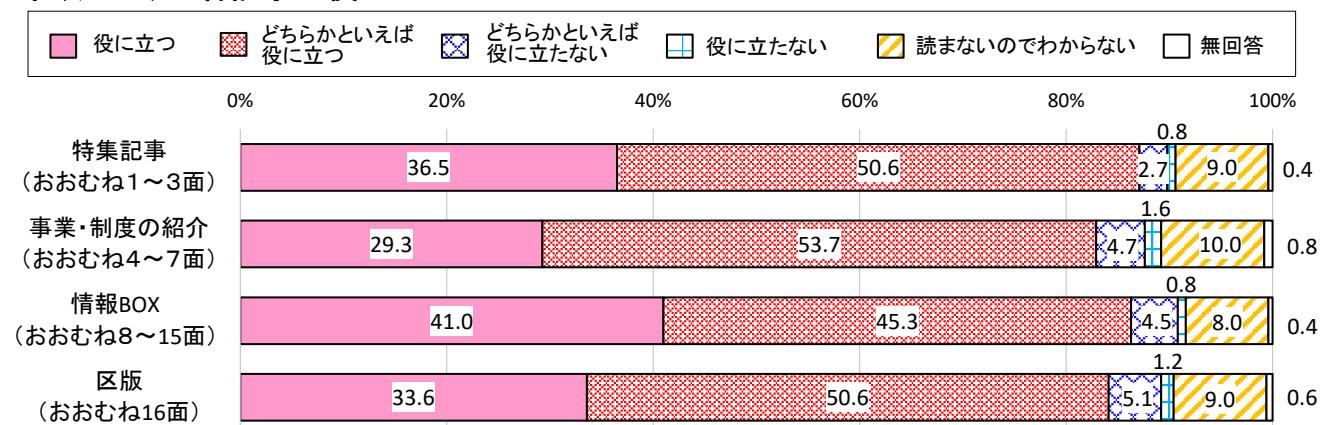


## «市政だより(紙媒体)を読む頻度»



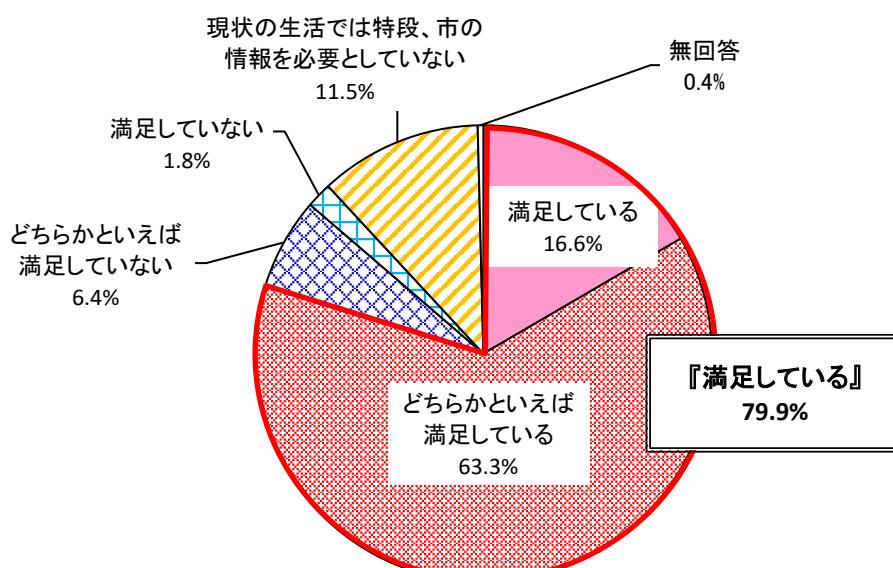
「毎号読んでいる」と回答した方は全体の43.8%となりました。年代別にみると、年代が上がるにつれて、「毎号読んでいる」と回答した方の割合が高くなっています。

## «市政だよりの各記事は役に立つか»



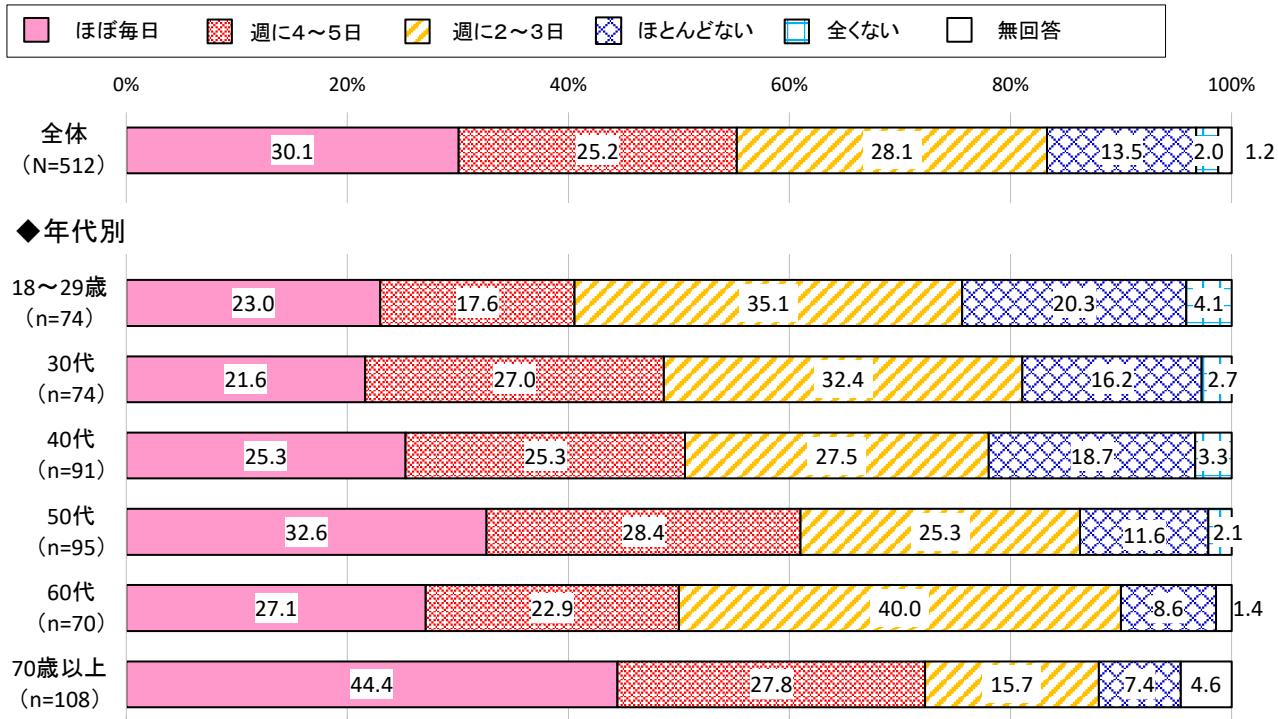
『役に立つ』と回答した方は「特集記事」で87.1%と最多く、次いで「情報BOX」で86.3%という結果になりました。

## «福岡市の情報発信に対する総合的な満足度»

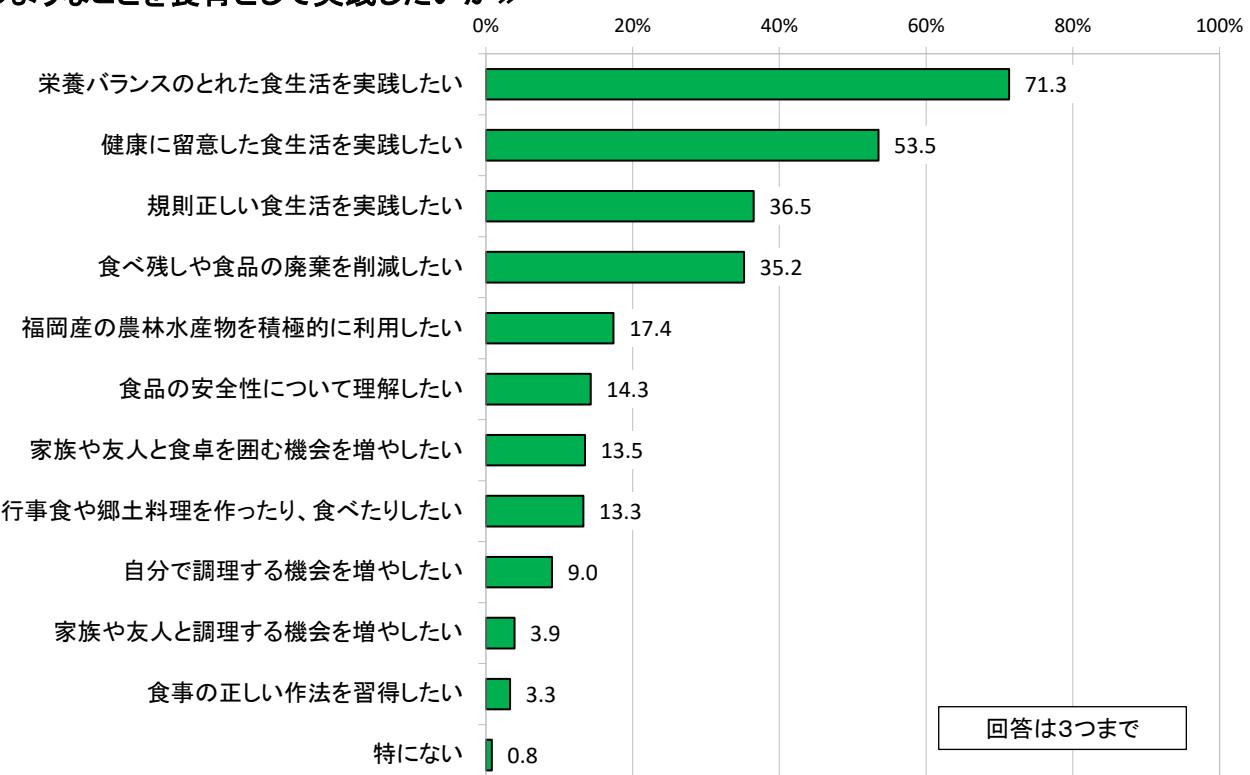


#### ④「食育」について(N=512)

«バランスの良い食事の摂取頻度(主食・主菜・副菜がそろった食事を1日に2回以上)»



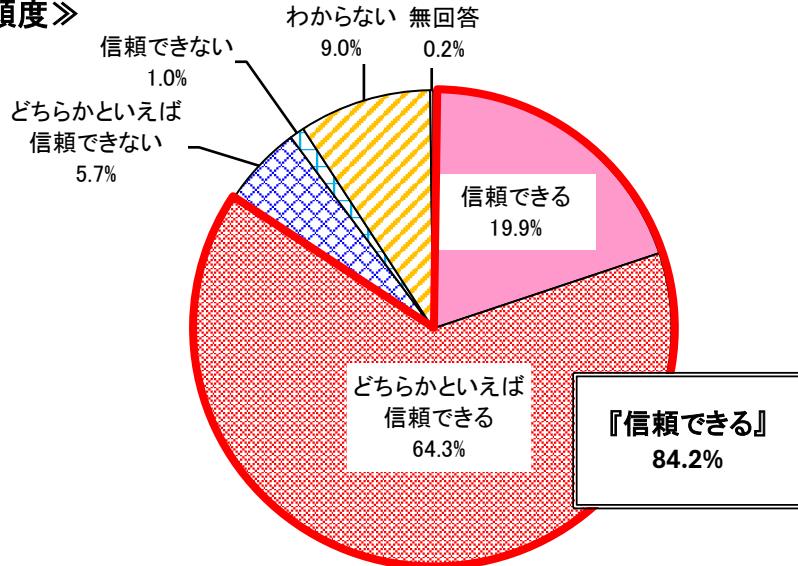
«どのようなことを食育として実践したいか»



「栄養バランスのとれた食生活を実践したい」が71.3%と最も多く、次いで「健康に留意した食生活を実践したい」が53.5%、「規則正しい食生活を実践したい」が36.5%となりました。

## ⑤「福岡市の行政運営の取り組み」について (N=512)

### 《福岡市政への信頼度》



### 《「効果的・効率的な行政運営」の取り組みについての満足度・重要度》

■『満足』・『重要である』 □『不満』・『重要ではない』 ▨『わからない』・『無回答』

#### ノンストップ行政の推進

満足度	63.4	14.2	22.2
重要度	82.2	4.9	12.9

#### AIなど最先端技術等の活用

満足度	46.9	17.2	35.9
重要度	73.2	9.9	16.8

#### 市民とのコミュニケーション推進とぬくもりのある区役所等のサービス拡充

満足度	60.6	13.2	26.2
重要度	79.9	8.2	12.0

#### 市民や多様な主体との共創・共働

満足度	52.1	12.6	35.2
重要度	72.6	11.3	16.1

#### 変化に柔軟に適応する組織づくり

満足度	49.4	13.6	36.9
重要度	76.9	6.1	17.0

0% 20% 40% 60% 80% 100%

満足度は「ノンストップ行政の推進」が63.4%と最も高く、次いで「市民とのコミュニケーション推進とぬくもりのある区役所等のサービス拡充」が60.6%でした。重要度も「ノンストップ行政の推進」が82.2%と最も高く、次いで「市民とのコミュニケーション推進とぬくもりのある区役所等のサービス拡充」が79.9%となりました。